



2017・5・11

第 272 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

安倍首相が挑戦状！2020年までに9条改憲と

草の根から抗議の世論を

安倍首相は5月3日、2020年までに憲法9条の改憲をめざすとの見解を発表しました。国務大臣の憲法尊重擁護義務に反することはもちろんですが、そのねらいは南スーダンへの自衛隊派兵や日本海に向かう米艦防護で踏出した戦争法具体化の道をすすめるため、海外での武力行使に対するいっさいの制約を取り払うことでしょう。

全国の草の根から抗議の声を巻き起こすことが求められています。また、順次、呼びかけ人・世話人の「声」もお届けします。

任期中の改憲めざし暴挙の積み重ね

世話人 浅倉むつ子

安倍内閣は内閣法制局長官の人事に介入し、2014年7月1日の閣議決定によって、憲法の意味内容を変更しました。集団的自衛権が憲法上許されるという閣議決定の論拠は、国会の論戦でことごとく否定され尽くしたにもかかわらず、2015年9月に安保関連法は強行採決されました。この一連の暴挙とルール無視は許されるべきではなく、全国各地で安保関連法をめぐる違憲訴訟が提起されています。今回、安倍首相は、憲

6・2九条の会講演会は 事前予約が必要です

6月2日午後6時から東京杉並公会堂で開かれる「九条の会講演会」は、会場が1000人余とあまり広くないため、事前予約制をとり参加費をご送金いただいた方に参加券を発行しています。なお、開催日前でも満席になりしだい、受付を締め切らせていただきます。

<お申し込みは>

下記郵便振替口座に参加費をお払い込みください。

口座番号 00100-9-774293

口座名 九条の会講演会

法9条の解釈変更「成功」したと思込み、自分の首相在任中に明文改憲を実現したくなったのでしょうか。しかし、論拠なしに変更された憲法解釈を前提にして9条3項に自衛隊の存在を書き込んでも、それはますます「矛盾」を増幅するばかりではありませんか。自ら憲法解釈を踏みにじりながら、その憲法の力で現状を追認しようとは、論理的破綻もはなはだしいと思います。

現行1、2項と自衛隊の並存はムリ

世話人 山内 敏弘

9条の1項と2項はそのままにして新たに3項で自衛隊の存在を明記するという、今度の安倍首相の改憲論は、従来自民党内では全く出ていなかった案であり、自民党には党内民主主義がないことを示している。また、2020年には改定憲法を施行したいという発言は、憲法改正発議権をもつ国会を軽視したものである。この案は、公明党などに秋波を送るものであろうが、内容的には矛盾だらけである。戦力不保持・交戦権否認の現行規定と自衛隊の存在の明記とを整合的に説明することは所詮は困難である。そうであれば、つぎには2項を削除しようという流れになることは目に見えている。9条の非軍事平和主義をなきものにしようとする安倍改憲を断固阻止することこそが、今に生きる私たちの責務である。

県民版に1頁の全面意見広告

【静岡県・県内 85 の9条の会】 静岡県内の「9条の会」は4月29日、読売新聞・静岡県版1頁全面を使った意見広告を掲載し、大見出しで「施行70年日本国憲法をまもり いかそう 大切にしたい いのち・くらし・へいわ」とアピールしました。

憲法記念日にあわせて掲載しており、今年で7回目。県内の9条の会85団体が参加して、市民に呼びかけ、賛同した4819人の氏名もあわせて掲載されました。

意見広告では、「武力で平和はつくれない!」「許しません!・テロ対策と思わせて、私たちを監視し、自由を奪う『共謀罪』」「市民と野党が力を合わせアベ政権に退場を!

と強調。▽沖縄に辺野古新基地はいらない▽日本中にオスプレイはいらない▽安保法制=戦争法を廃止して自衛隊を戦場に送らない▽日本こそ国連の核兵器禁止条約に参加を一も主張しています。

実行委員会事務局の那須田俊夫さん（浜松しおかぜ9条の会）は、「施行70年を迎えた日本国憲法は、世界のなかでその価値をますます高めています。今回の経験を『共謀罪』法案阻止など、県内の共同した活動にいかしていきたい」と話しています。

「戦後最悪政治」打倒へ交流

【富山県・「9条の会」富山県連絡会】 富山県連絡会は3月25日、富山市で第10回活動交流会を開きました。これは、安倍改憲阻止・戦争法廃止・共謀罪創設反対をめざす活動交流を目的で開いたもので、全県から10団体、16名が参加し、熱心にこれまでの活動の交流や意見交換を行いました。

はじめに「連絡会」幹事の柴田健次郎さんが「戦後最悪の安倍反動政権を打倒しよう」と題して情勢報告。本気で野党+市民の共同闘争を発展させることを旗印に掲げた受け皿をつくることができれば「戦後最悪政治」は打倒できると訴えました。

活動交流では「運動を振り返っての反省と新年にあたっての抱負を語り合う新年会を11年間続けてきた。手料理のおでんや漬物、お酒などで英気を養い、楽しくやっている。毎月ニュースを発行しこの3月で134号になった」(水橋9条の会)。高岡地区では、市内3つの「9条の会」が共同して、9月9日全国いっせい「9条守れ」の活動を10年続けている。また、戦争法廃止・共謀罪法廃案

のスタンディングアピールや共謀罪の学習会を行い、反対署名に取り組んでいる。小杉9条の会では、水谷敏彦弁護士を講師に共謀罪の学習会を開き、これをバネに共謀罪法の創設阻止の活動をすすめている。このほか、豊田9条の会、入善9条の会、藤の木9条の会、滑川9条をイカす会、やまむろ9条の会からも活動報告などの発言がありました。

最後に、新しいポスターの要望があり、「連絡会」幹事会はその方向でとりくむことと、憲法の5原則のすばらしさを語り広げるとともに、安倍政権の暴走を許さず一日も早く打倒に追い込もうとの決意を固めあい、熱気がみなぎるなかで閉会しました。

（「憲法9条ファンクラブニューズレター」第155号）

草の根で改憲勢力との対決も

【愛媛県大洲市・憲法9条を守る大洲の会】 憲法9条をまもる大洲の会は4月22日、日本国憲法施行70周年記念講演会と総会を開き、30人が参加しました。

松山市の三津・高浜9条の会代表世話人の芳野敏雄、美行夫妻が「命の9条」と題して講演。「私たちの命を守ってくれるのが9条。二度と戦争を起こさせないため、全国の9条の会と手をつなぎ、頑張ろう」と訴えました。

河野朋子代表世話人は「再び暗黒の時代に戻らせないように全国で『戦争させない、9条壊すな、共謀罪ノー』の声がひしめいている。9条の理念に誇りを持って活動していこう」とあいさつしました。

総会では、澄田恭一代表世話人が活動報

告し、3月大洲市議会に日本会議大洲支部が出した「憲法改正の早期実現を求める意見書を国会に提出するよう求める請願」が不採択となったと強調。「松山、今治、四国中央市では採択されており、こうした動きが続くことは許さない」と、草の根の改憲運動を阻止するよう呼びかけました。

減ってはいない原発被害の悲劇

【群馬県沼田市・利根沼田九条の会】 4月15日、「利根沼田九条の会12周年のつどい」が開かれ、鈴友会の三味線で幕が切られました。（参加者74人）

木村事務局長は呼びかけ人の多くがお亡くなりになったが、九条の会アピールは今でも新鮮であり、平和が危機にあるいま、残された私たちが頑張っていこうと呼びかけました。

丹絵杉江さんが「チェルノブイリ事故30年の今とフクシマ6年目の実態」について記念講演されました。

丹治さんは全国で初めてとなる群馬の「福島原発裁判」で、被災者の救済を東電任せでなく、国と東電の責任を同等に認めたことに大きな意義があると強調しました。避難者は憲法で保障された多様な「人間の尊厳」が侵害されていると糾弾し、これらの権利が取り戻せたときから復興が始まるのであると訴えました。

政府は避難指示解除を行い、賠償や生活支援を打ち切ろうとしている。帰還を強行した地域でも、葛尾村6%、南相馬村8・8%に過ぎない。子供の放射能が心配、生活の基盤がない、仕事がないなどで帰れないのが実情です。

自殺者も増えており、年配の夫人は迷惑を掛けてはいけなと、ご主人が眠るお墓へ避難すると遺書を残して旅立つなど、痛ましい自殺が生まれている。子供たちはいじめに苦しんでいる。

原発再稼働を許さず、避難計画は「移住生活」を保障することだと話していました。（「利根沼田九条の会ニュース」第23号）

共謀罪の本質を広げるために

【和歌山県紀ノ川市・打田九条の会等】

打田九条の会と生活と民主主義を守る那賀の会とは4月23日、学習会「ここまで来ている戦争法 共謀罪は何をめざすか！」を紀の川市で開きました。

開会あいさつした「那賀の会」の宮本政治氏は、私たちの活動が第一次安倍政権以降、憲法や平和を守ることが主要になっていると報告。「戦争する国づくりを許してはならない」と訴えました。

講演した由良登信弁護士は、歴代自民党政府が憲法9条により許されないとしてきた集団的自衛権の行使を、安倍政権は閣議決定で容認し、海外派兵はできないと言ってきたことを戦争法で破壊したと糾弾。さらに治安維持法の現代版、思想、信条の自由を侵す「共謀罪」によって戦争する国づくりを推し進めようとしていると指摘し、法案阻止を訴えました。学習会では、由良氏がつくった「共謀罪」のコントが演じられました。

戦争は2度とゴメンの声を署名に

【札幌市・琴似、山の手9条の会】 札幌市西区で活動する琴似、山の手9条

の会は4月20日、地下鉄琴似駅前、「憲法の改悪に反対し、9条を守る」よう求める署名を買い物客らに呼びかけました。

8人が参加し、手作りの横断幕やプラカードを掲げて、ビラを配布。交代でマイクを握り、内心の自由を脅かす「共謀罪」法案阻止を訴え、アメリカのシリアへのミサイル攻撃に抗議しました。

先月、国連で開催された核兵器禁止条約の交渉を開始する国際会議に日本政府が不参加だったことを告発、「被爆国としてあるまじき行為」と安倍政権を批判しました。

ビラを受け取った70代の女性は「物騒な世の中になってきた」と不安げに語り、85歳の男性は「戦争が終わったのは10代でした。あんな生活はたくさんです」と話すなど、30分の行動で31人が署名しました。

「トランプ大統領は何をしでかすか、わからない。日本はもうアメリカいいなりはやめるべきだ」（男性）、「憲法を守らないと、またいつか来た道（戦争）になる」（女性）などの声がありました。

監視・密告社会つくる「共謀罪」

【青森県・青森県九条の会】 青森県九条の会は4月26日、青森市新町で、「共謀罪」法案を廃案に追い込むため街頭宣伝に取り組みました。

『共謀罪』反対ですの横断幕を掲げ、参加者16人が「監視・密告社会なんていや」「共謀罪」法案を廃に追い込む署名ですと声をあげ、市民へ署名を呼びかけました。

リレースピーチで訴えた県九条の会の谷崎嘉治氏らは、共謀罪の捜査では何を目的に行動しているのかを判断するため、盗聴、

GPS、密告といった捜査手法が多用されると指摘。安倍政権が成立を狙う「共謀罪」法案は、憲法が保障する思想・良心の自由、表現の自由、適正手続き保障などを侵害する違憲立法だと批判し、「一緒に廃案に追い込みましょう」と署名を呼びびかけました。

「国民が注目している審議にもかかわらず『共謀罪』報道が少なく、国会中継も付度（そんたく）されているようだ。国民へ丁寧に説明せず暴走を続ける安倍政権を退陣させよう」の訴えに、「そうだ」と声をあげる参加者や、「何もわからないからチラシを下さい」と声をかけ「共謀罪」の危険な中身を知らせるチラシを受け取っていく市民もいました。

「小さく生んで大きく育てる」手法

【岐阜県各務原市・九条の会・各務原】

九条の会・各務原は4月29日、「共謀罪」阻止、憲法改悪を許さない「平和のつどい」が開かれ、約70人が参加しました。

同会代表の原田実さん（74）は「安倍政権は道徳も倫理観も欠如しており、その筆頭が安倍首相だ。横暴を許さず、共謀罪、憲法改悪に反対していこう」とあいさつしました。

岐阜総がかり行動代表の河合良男弁護士が「共謀罪と憲法改悪」と題して講演。テロなど組織的犯罪者集団の悪者が対象で「一般人は対象にならない」と説明する政府を批判。「小さく産んで大きく育てる」のが政府の手法だと述べ、内心の自由を奪う「共謀罪」の本質を市民に広げ、戦争する国づくりに向かう自民改憲案を許してはならないと訴えました。

9条の会の生長が安倍政権への打撃

【三重県名張市・なばり9条の会】

なばり9条の会は4月30日、結成12年のつどいを名張市内で開き、約100人が参加しました。

衆議院議員の清水忠史氏が講演、「安倍政治を笑い倒して、憲法を守っていきたい」と、安倍政権の暴走、北朝鮮問題、「共謀罪」などをユーモアある語りで述べました。自民改憲草案の危険な中身にもふれ、9条の会を大きくすることが安倍政治に大きな打撃になると指摘。笑いユーモアも含めて相手を追い詰めようと訴えました。

参加した女性（41）は「楽しく、わくわくした。自民改憲草案のひどさがわかった。このことをフェイスブックで発信していきたい」と語りました。事務局の川合一葉さん（73）は「元気ある話を聞いて励まされた。憲法の素晴らしさを広め、安倍政治をやめさせようと改めて決意した」と述べました。

いま戦争体験を語り継ぐ大切さ

【長崎市・城山憲法九条の会】

城山憲法九条の会は、「今戦争体験者の話を聞くことができるギリギリの時期にある」と2回シリーズで戦争体験を聞く集いを企画しました。4月29日、3月に続き2回目の集いを城山カトリック教会で開きました。

関東軍の憲兵隊の隊長を父に持ち、子ども時代を軍国主義の真ただ中で過ごした田中實さん（87）は、「自分は軍人になることしか考えていなかった」と海軍兵学校に入学。しかし戦後、憲兵である父の戦中の

行いを知り、それまで経験したことがないショックを受けました。「仕事を離れたら普通の優しい父親だった、教育を徹底して受ければそこまで変わってしまう」と述べました。

佐々木秀雄さん（85）も自らの戦争体験を語りました。

講演後「今の状況が戦前に似ていると言われるがどうか」との質問に田中さんは「秘密保護法、共謀罪、これは治安維持法と考えてもいい。共謀罪は絶対につくらせてはいけない」と力を込めました。

講演を聞いた森ひろみさん（53）は「戦争時代を過ごした人たちの話はリアルで、今の状況とリンクすると思います」と感想を語りました。

自由なおしゃべり文化の開花を

【埼玉県草加市・九条の会草加】 4月12日に初めて行われた「おしゃべりサロン」、少し不安でまた楽しみでもありましたが、30代（多分）から80代まで10人が集いました。

テーマは「森友問題」。参加をお願いしてあった山内さんが、森友学園の教育内容的をしばった適切な資料を用意してくださいました。

昭和16年4月、国民学校が発足した年に1年生として入学したHさんは、あの教育勅語を直立不動で震えながら暗唱させられたと話しました。

戦時中、軍将校だったSさんのお父さんははやくから軍の復権を予見し、しかしご自身は斡旋された職に就くのを拒んだそうです。皆さんの経験からのお話、報道を通

じて思っていること感じていること、怒り、「忬度」などが話されました。

話し合うことが「キョーボー罪」が今、国会で審議されています。「忬度」抜き、自由なおしゃべり文化をもっともっと花開かせたいなあと思いました。またやりましょう！（「九条の会・草加」第134号）

憲法カフェの感想文から

【群馬県前橋市・南橋地区九条の会】 4月25日、村越弁護士と憲法カフェを開催。20人の参加で、主に共謀罪について解説、参加者と様々な質疑応答をして理解を深めました。参加された方の感想です。

☆「私たちは真実が知りたい」。そして思った。これは現代版の治安維持法だ。それと並行して私が考えた事。

シリアのアサド政権のサリン爆撃により子供たちが苦しんでいる。それに対してトランプ大統領は国連決議なしのミサイル攻撃。また、連日のように報道されるISテロ。（ああまたか）と私たちは慣らされ、洗脳され始め、思考停止になっていませんか？確かにテロは怖い、でも戦争の方がもっと怖い。もしかして軍隊とは最大のテロ集団？（軍事費で）医療・食料を援助して人々を救えないの？ 今私たちに出来ることは、考え続ける事、そして発信していく事ではないでしょうか。（M. A）

☆共謀罪とは、何をすれば罪になるのか訳が分からない。（政権は説明もできない）。憲法31条の「[罪刑法定主義]にも違反している。こんな法律で私たちの自由な生活が脅かされるのは全くごめんだ。（T.F）

（「南橋地区九条の会ニュース」第96号）